

令和7年度

# 通信教育実施計画

日本ウェルネス高等学校  
通信制課程

## 1.通信教育の方法

添削指導

面接指導

単位認定試験



下記の条件を満たすことで高校卒業資格が得られます。

在籍期間が合計3年以上

習得単位数が  
74単位以上

特別活動に30単位時間  
以上参加



卒業 （3月または9月に卒業できます）

2.年間行事予定

令和7年度

4月			5月			6月			7月			8月			E	
日	行事		日	行事		日	行事		日	行事		日	行事			
1	火		1	木	自主研修の日	1	日		1	火		1	金		1	
2	水		2	金	学園創立記念日	2	月		2	水		2	土		2	
3	木		3	土	憲法記念日	3	火		3	木		3	日		3	
4	金		4	日	みどりの日	4	水		4	金		4	月		4	
5	土		5	月	こどもの日	5	木		5	土		5	火		5	
6	日		6	火	振替休日	6	金		6	日		6	水		6	
7	月	入学式 ネットオリエンテーション	7	水		7	土	第7回定期演奏会	7	月		7	木		7	
8	火	オリエンテーション 交通安全教室① (新入生＋在校生)	8	木		8	日		8	火		8	金		8	
9	水	フレッシュマンセミナー 交通安全教室 野球部地区予選	9	金		9	月		9	水		9	土		9	
10	木	通常授業開始	10	土		10	火		10	木		10	日		10	
11	金		11	日		11	水		11	金	夏季休暇前終業式	11	月	オープンスクール	11	
12	土		12	月		12	木		12	土		12	火		12	
13	日		13	火		13	金		13	日		13	水		13	
14	月	クラスマッチ①	14	水		14	土		14	月	<div>↑夏季休業開始 前期SC①</div> <div>↓第3回レポート提出</div>	14	木		14	
15	火		15	木		15	日		15	火			15	金		15
16	水		16	金		16	月		16	水			16	土		16
17	木		17	土		17	火		17	木			17	日		17
18	金		18	日		18	水		18	金		18	月		18	
19	土		19	月	さんぽう進路指導講習会	19	木		19	土		19	火		19	
20	日		20	火		20	金	第2回レポート提出	20	日		20	水		20	
21	月	クラスマッチ②	21	水		21	土		21	月	海の日	21	木		21	
22	火		22	木		22	日	学校説明会	22	火		22	金		22	
23	水		23	金	第1回レポート提出	23	月		23	水		23	土		23	
24	木		24	土		24	火		24	木		24	日	学校説明会	24	
25	金		25	日		25	水		25	金		25	月		25	
26	土		26	月		26	木		26	土		26	火		26	
27	日		27	火		27	金		27	日		27	水		27	
28	月	自主研修の日	28	水		28	土		28	月		28	木		28	
29	火	昭和の日	29	木		29	日		29	火		29	金	夏季休業終了	29	
30	水	自主研修の日	30	金		30	月	校外学習	30	水		30	土		30	
			31	土					31	木		31	日			

備考		備考		備考		備考		備考		備考
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----

# 日本ウェルネス高等学校 年間行事予定

※予定等

9月		10月		11月		12月		1月	
日	行事	日	行事	日	行事	日	行事	日	行事
月	始業式	1 水	後期授業開始	1 土		1 月		1 木	元日
火		2 木		2 日		2 火		2 金	
水		3 金	第4回レポート提出	3 月	文化の日	3 水		3 土	
木		4 土		4 火		4 木		4 日	
金		5 日		5 水		5 金	第6回レポート提出	5 月	
土		6 月		6 木		6 土		6 火	
日		7 火		7 金	第5回レポート提出	7 日	学校説明会	7 水	
月		8 水		8 土		8 月	クリスマス会 出願開始日	8 木	
火		9 木		9 日		9 火		9 金	冬季休業終了
水		10 金		10 月		10 水		10 土	
木		11 土		11 火		11 木		11 日	
金		12 日		12 水		12 金	冬季休暇前終業式	12 月	成人の日
土		13 月	スポーツの日	13 木	県民の日	13 土		13 火	始業式 後期試験通達日1、2年生
日		14 火		14 金		14 日		14 水	
月	敬老の日	15 水		15 土	文化祭	15 月	後期SC①	15 木	
火	前期試験 (通学コース)	16 木		16 日		16 火		16 金	
水		17 金		17 月	振替休日	17 水		17 土	第1回入試
木	前期試験 (ネットコース)	18 土		18 火		18 木		18 日	
金		19 日	学校説明会	19 水		19 金	後期試験通達日 3年生	19 月	入試振替休日
土		20 月		20 木		20 土		20 火	
日		21 火		21 金		21 日		21 水	
月	追試験日 対象生徒休み	22 水		22 土		22 月		22 木	
火	秋分の日	23 木		23 日	敬老感謝の日	23 火		23 金	
水	通常授業再開	24 金		24 月	振替休日	24 水		24 土	
木		25 土		25 火		25 木		25 日	
金		26 日		26 水		26 金		26 月	卒業式・ 3送会通達日
土		27 月		27 木		27 土		27 火	3年後期試験 1.2年通常授業
日		28 火		28 金		28 日		28 水	3年後期試験 1.2年通常授業
月		29 水		29 土		29 月		29 木	3年追試験 1.2年通常授業
火		30 木		30 日		30 火		30 金	バレー新人戦
		31 金				31 水	大晦日	31 土	

考		備考		備考		備考		備考		備考
---	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----

変更になる場合があります。

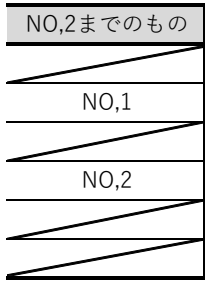
2月		3月	
行事	日	行事	
学校説明会	1 日		
校外学習TDL	2 月	卒業式	
3年自由登校	3 火		
	4 水		
卒業判定会議	5 木		
	6 金	終業式	
	7 土		
	8 日		
	9 月	春季休業開始	
	10 火		
建国記念日	11 水		
単位認定成績判定会議	12 木		
	13 金		
第2回入試	14 土		
	15 日		
通学コース後期試験 1、2年	16 月		
	17 火		
ネットコース 後期試験	18 水		
	19 木		
後期追試	20 金	春分の日	
	21 土		
	22 日		
天皇誕生日	23 月		
	24 火		
	25 水		
	26 木		
卒業式予行練習 3送会	27 金		
	28 土		
	29 日		
	30 月		
	31 火	出願受付終了	

	備考	
--	----	--



### 3.レポート提出期限一覧

回数	日付	NO,12までのもの	NO,9までのもの	NO,6までのもの	NO,4までのもの	NO,3までのもの
第1回	5月23日	NO,1 NO,2	NO,1 NO,2	NO,1	NO,1	
第2回	6月20日	NO,3 NO,4	NO,3 NO,4	NO,2	NO,2	NO,1
第3回	7月11日	NO,5 NO,6	NO,5	NO,3		NO,2
第4回	10月3日	NO,7 NO,8	NO,6 NO,7	NO,4	NO,3	
第5回	11月7日	NO,9 NO,10	NO,8	NO,5	NO,4	
第6回	12月5日	NO,11 NO,12	NO,9	NO,6		NO,3



4教科指導計画（シラバス）  
令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	現代の国語	2	6	2	東京書籍 新編現代の国語	

学習の目標
言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する素質・能力を育成することを目標とする。その上で、実社会に必要な知識や技能、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自ら発信する力も向上させ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)～(4)1自己を見つめる　こそめスープ	P6～P17
第 2 回	No.2(1)～(4)2他者に出会う 未来をつくる想像力　メディアとの付き合い方 水の東西　　　　　　　評論の読み方	P24～P38
第 3 回	No.3(1)～(4)4視野を広げる スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色	P68～P86
第 4 回	No.4(1)～(4)5社会と関わる 鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしこ漁	P94～P115
第 5 回	No.5(1)～(4)7世界とつながる 美しさの発見 りんごのほっぺ	P142～P158
第 6 回	No.6(1)～(4)8未来に目を向ける 不思議な拍手 真の自立とは	P116～P187

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)～(4)1自己を見つめる　こそめスープ
2 時間	No.4(1)～(4)5社会と関わる 鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしこ漁

【学習評価】	
評価観点	評価基準
知識・技能	文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などについて、叙述を基に的確に捉え、趣旨や要点を把握している
主体的に学習に取り組む姿勢	進んでい筆者の気持ちの変化や考えを歯科医師、学習課題に沿って自分の考えをまとめている。日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができている。

【単位習得認定基準】	
1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	言語文化	2	6	2	東京書籍 新編言語文化	

学習の目標
言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する脂質・能力を育成することを目標とする。その上で、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)～(4)現代文編 1随筆 生きる喜び さくらさくらさくら、「美しい」ということ 2小説1 触れ合う心 とんかつ	P10～P35
第 2 回	No.2(1)～(4)現代文編 3詩歌 命をうたう 柳あをめる【短歌】短歌の読み方 雪の深さを【俳句】俳句の読み方 冬が来た、少年の日	P50～P65
第 3 回	No.3(1)～(4)現代文編 4小説2 葛藤する心 羅生門 5小説3 現実の向こう側 夢十夜	P72～P103
第 4 回	No.4(1)～(4)古文編 2随筆 日々の思い 徒然草、枕草子 3詩歌 うたの心 折々のうた	P138～P163
第 5 回	No.5(1)～(4)古文編 4物語 個人の生き方 伊勢物語、平家物語 5紀行 旅の心 奥の細道	P170～P195
第 6 回	No.6(1)～(4)漢文編 1漢文入門 漢文に親しむ 訓読の基本、故事成熟－三編 2漢詩 漢詩を味わう 絶句と律詩－七首 3論語 論語のことば 論語－八章 4史話 史話を楽しめ 史話－三編	P210～P253

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)～(4)現代文編 1随筆 生きる喜び さくらさくらさくら、「美しい」ということ 2小説1 触れ合う心
2 時間	No.4(1)～(4)古文編 2随筆 日々の思い 徒然草、枕草子 3詩歌 うたの心 折々のうた

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言語文化に対する理解を深めている
思考・判断・表現	「読み」「書き」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付け、他者との関わりを通して伝える力を高めることができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	言葉を通して積極的に他者と関わり、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。

【単位習得認定基準】

1	添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2	面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位以上出席することが必要。
3	単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	論理国語	4	12	4	東京書籍 新編倫理国語	

学習の目標
言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する脂質・能力を育成することを目標とする。その上で、実社会に必要な知識や技能、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自ら発信する力を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。

添削指導	学習内容	教科書	添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)～(4)Ⅰ部 1 広がる風景 対話とは何か、世界をつくり替えるために	P8～P24	第7回	No.7(1)～(4)Ⅱ部 1 時代をひらく 最初のペンギン、豊かさと生物多様性	P168～P184
第2回	No.2(1)～(4)Ⅰ部 2 考える手がかり 少女たちの「ひろしま」、「ふしぎ」ということ	P26～P54	第8回	No.8(1)～(4)Ⅱ部 2 新しい視点から 物語の外から、カフェの開店準備	P186～P208
第3回	No.3(1)～(4)Ⅰ部 3 人間と知性 学ぶことと人間の知恵 ラップトップ抱えた「石老人」	P56～P74	第9回	No.9(1)～(4)Ⅱ部 3 科学と人間 競としてのアンドロイド ロボットが隣人になるとき	P210～P230
第4回	No.4(1)～(4)Ⅰ部 4 現実の中で 思考の肺活量、安心について	P76～P100	第10回	No.10(1)～(4)Ⅱ部 4 豊かな認識 言葉は「ものの名前」ではない 科学的「発見」とは	P232～P260
第5回	No.5(1)～(4)Ⅰ部 5 ものの見方 弱肉強食は自然の節理か 複数の「わたし」	P102～P122	第11回	No.11(1)～(4)Ⅱ部 5 知のゆくえ 知識における作者性と構造化 もう一つの知性	P262～P280
第6回	No.6(1)～(4)Ⅰ部 働くよろこび はじめに「言葉がある」 楽に働くこと、楽しく働くこと	P124～P166	第12回	No.12(1)～(4)Ⅱ部 6 明日をみつめて ホンモノのおカネの作り方 未来のありかた	P282～P301

面接指導	学習内容
1時間	No.1(1)～(4)Ⅰ部 1 広がる風景対話とは何か、世界をつくり替えるために
2時間	No.2(1)～(4)Ⅰ部 2 考える手がかり少女たちの「ひろしま」、「ふしぎ」ということ
3時間	No.7(1)～(4)Ⅱ部 1 時代をひらく最初のペンギン、豊かさと生物多様性
4時間	No.8(1)～(4)Ⅱ部 2 新しい視点から物語の外から、カフェの開店準備

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他社との関りあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む姿	言葉が持つ価値への意識を深めることともに、国語に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	古典探究	4	12	4	東京書籍 精選古典探究	

学習の目標
言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する脂質・能力を育成することを目標とする。その上で、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。

添削指導	学習内容	教科書	添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)～(4) 古文編 I 部 1説話に親しむ 宇治拾遺物語 小野篁、広才のこと 十訓抄 大江山の歌 宇治拾遺 空を跳ぶ倉	P10～P19	第7回	No.7(1)～(4) 古文編 II 部 1随筆を味わう 枕草子	P86～P93
第2回	No.2(1)～(4) 古文編 I 部 2随筆を読む 徒然草 万丈記	P20～P31	第8回	No.8(1)～(4) 古文編 II 部 2歌物語を楽しむ 伊勢物語 大和物語	P94～P107
第3回	No.3(1)～(4) 古文編 I 部 3作り物語を読む 竹取物語	P32～P53	第9回	No.9(1)～(4) 古文編 II 部 3歴史物語を読む 大鏡	P108～P117
第4回	No.4(1)～(4) 古文編 I 部 4和歌の世界 小倉百人一首の世界	P54～P65	第10回	No.10(1)～(4) 古文編 II 部 4歌話・歌論を読む 袋草紙 無名抄 古今和歌集仮名序	P118～P125
第5回	No.5(1)～(4) 古文編 I 部 5日記を読む 土佐日記 更級日記	P102～P122	第11回	No.11(1)～(4) 古文編 II 部 5作り物語味わう 源氏物語	P126～P139
第6回	No.6(1)～(4) 古文編 I 部 6軍記物語を味わう 平家物語 7近世文学の世界 世間陶算用、おらが春	P66～P85	第12回	No.12(1)～(4) 古文編 II 部 6俳諧に親しむ 近世俳句抄 7伝承の世界 古事記	P140～P157

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)～(4)古文編 I 部1説話に親しむ、宇治拾遺物語小野篁、広才のこと、十訓抄大江山の歌、宇治拾遺物語空を跳ぶ倉
2 時間	No.2(1)～(4) 古文編 I 部 2随筆を読む徒然草万丈記
3 時間	No.7(1)～(4) 古文編 II 部1随筆を味わう枕草子
4 時間	No.8(1)～(4) 古文編 II 部2歌物語を楽しむ伊勢物語大和物語

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言論文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	倫理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方について、自分の思いや考えを広げて深めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	言葉が持つ価値への認識を深めることともに、古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が見られる。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	歴史総合	2	6	2	東京書籍 新選歴史総合	

学習の目標
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を研究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する情報を調べまとめる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)～(4) 第1章 歴史の扉 1節 歴史の私たち 2節 歴史の特質と資料 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国	P7～P51
第 2 回	No.2(1)～(4) 第2章 近代化と私たち 3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題	P52～P83
第 3 回	No.3(1)～(4) 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	P84～P111
第 4 回	No.4(1)～(4) 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	P112～P141
第 5 回	No.5(1)～(4) 第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	P142～P169
第 6 回	No.6(1)～(4) 第4章 グローバル化と私たち 3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	P170～P197

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)～(4) 第1章 歴史の扉 1節 歴史の私たち 2節 歴史の特質と資料 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国
2 時間	No.4(1)～(4) 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・文書、図像などの諸資料を活用して情報を読み取ることができる。 ・日本、世界の歴史から日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。
思考・判断・表現	・諸資料を活用し、課題を追求・解決しながら、歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し表現することができる。 ・各時代にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料
主体的に学習に取り組む姿勢	・地理的・歴史的な知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題認識として意識し、主体的に探究し続けることができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
--------	-----------------------------



2	面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位以上出席することが必要。
3	単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	地理総合	2	6	2	東京書籍 地理総合	東京書籍 新高等地図

学習の目標
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を研究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みを正解、調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)～(5) 第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割	P5～P36
第 2 回	No.2(1)～(4) 第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	P37～P67
第 3 回	No.3(1)～(4) 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候	P68～P91
第 4 回	No.4(1)～(4) 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 4節 生活文化と産業 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	P92～P135
第 5 回	No.5(1)～(5) 第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的環境と国際協力 3節 人口問題 4節 食糧問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして	P136～P172
第 6 回	No.6(1)～(4) 第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境の特色 2節 さまざまな自然災害と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	P173～P217

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)～(5) 第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割
2 時間	No.4(1)～(4) 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 4節 生活文化と産業

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・地図や地理情報システム(GIS)を考察し、活用に必要な技能を身に付けることができる。 ・諸課題の解決を目指した各国の取り組みや国際協力の必要性を理解することができる。
思考・判断・表現	・世界の人々の生活文化の多様性を知ること、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。 ・地球規模の自然環境に関わる諸課題の現状や要因、解決に向けた取り組みが理解できる。 ・日本が抱える地理的な諸課題の解決や未来について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	・地理的・歴史的な知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題認識としてし、主体的に探求し続けることができる。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
--------	----------------------------

2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
公民	公共	2	6	2	東京書籍 公共	

学習の目標
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民として資質・能力を育成することを目標とする。その上で、現代の諸課題を考察し、理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)～(4) 第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち－社会の中の自己 (1) 現代社会に生きる青年 (2)社会的な関係のなかで生きる人間 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方－共に生きるための倫理	P7～P35
第 2 回	No.2(1)～(4) 第3章 公共的な空間における基本的原理－私たちの民主的な社会 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち テーマ1 民主政治と政治参加	P36～P83
第 3 回	No.3(1)～(4) 第2章 法の働きと私たち テーマ1 法や規範の意義と役割 テーマ2 市民生活と私法 テーマ3 国民の司法参加	P84～P111
第 4 回	No.4(1)～(4) 第3章 経済社会で生きる私たち テーマ1 現代の経済と市場 テーマ2 市場経済における金融の働き テーマ3 財政の役割と持続可能な社会保障制度	P112～P145
第 5 回	No.5(1)～(4) 第4章 私たちの職業生活 テーマ1 働くことの意義と職業選択 テーマ2 労働者の権利と雇用・労働問題 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1 国際社会のルールとしくみ テーマ2 国際社会と平和主義	P146～P173
第 6 回	No.6(1)～(4) 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ3 国際平和への課題 テーマ4 グローバル化する国際経済 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	P174～P212

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)～(4) 第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち－社会の中の自己 (1) 現代社会に生きる青年 (2)社会的な関係のなかで生きる人間 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方－共に生きるための倫理
2 時間	No.4(1)～(4) 第3章 経済社会で生きる私たち テーマ1 現代の経済と市場 テーマ2 市場経済における金融の働き テーマ3 財政の役割と持続可能な社会保障制度

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	現代の諸課題捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動しているために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができている。

思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。
主体的に学習に取り組む姿勢	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を深めようとしている。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
公民	倫理	2	6	2	東京書籍 倫理	

学習の目標
人間尊重と生命への畏敬の念を基盤に、青年期における自己形成、人間としての在り方・生き方を深く理解し、良識ある公民として他者と共生する能力を育成する

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)~(4) 第1章 人間の心の在り方 ◇人間についての問い 1節 人間とは何か 2節 人間の心の動き 第2章 さまざまな人間観・倫理観・世界観Ⅰ ◇哲学と宗教のもとにあるもの 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想	P8~P42
第 2 回	No.2(1)~(4) 第2章 さまざまな人間観・倫理観・世界観Ⅰ ◇哲学と宗教のもとにあるもの 3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術	P43~P81
第 3 回	No.3(1)~(4) 第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ ◇近代の理性主義への自負と不安 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格との尊重と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念	P82~P120
第 4 回	No.4(1)~(4) 第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ ◇近代の理性主義への自負と不安 6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり 第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ◇あやまり方に見られる日本人と外国人の違い 1節 日本人の精神風土	P121~P156
第 5 回	No.5(1)~(4) 第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ◇あやまり方に見られる日本人と外国人の違い 2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化	P157~P198
第 6 回	No.6(1)~(4) 第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ◇あやまり方に見られる日本人と外国人の違い 7節 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理	PP199~P235

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)~(4) 第1章 人間の心の在り方 ◇人間についての問い 1節 人間とは何か 2節 人間の心の動き 第2章 さまざまな人間観・倫理観・世界観Ⅰ ◇哲学と宗教のもとにあるもの 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想
2 時間	No.4(1)~(4) 第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ ◇近代の理性主義への自負と不安 6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり 第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ◇あやまり方に見られる日本人と外国人の違い 1節 日本人の精神風土

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・社会的事象等について理解し、その知識を身に付けている ・社会的事象等を調べまとめる技能を身に付けている
思考・判断・表現	・社会的な見方・考え方をを用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察している
主体的に学習に取り組む姿勢	・よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
公民	政治・経済	2	6	2	東京書籍 政治・経済	

学習の目標
社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、社会の在り方に方に関わる現実社会の諸改題の解決に向けて、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)～(4) 第1章 現代の政治 1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原理	P4～P47
第 2 回	No.2(1)～(4) 第1章 現代の政治 3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	P48～P79
第 3 回	No.3(1)～(4) 第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済	P80～P118
第 4 回	No.4(1)～(4) 第2章 現代の経済 2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と産業構造の変化	P119～P155
第 5 回	No.5(1)～(4) 第2章 現代の経済 4節 社会福祉と日本経済の課題 5節 国民経済と国際経済	P156～P203
第 6 回	No.6(1)～(4) 第3章 現代社会の諸課題 1節 日本社会の諸課題 2節 国際社会の諸課題	P204～P254

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)～(4)第1章 現代の政治1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原理
2 時間	No.4(1)～(4)第2章 現代の経済 2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と産業構造の変化

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・法律や政治体制など社会における基本的な知識を身に付け、日々の生活に関連付けていくことができる。 ・グラフを読み取り、経済の移り変わりや世界情勢の流れを読み解くことができる。
思考・判断・表現	・現代における政治・経済の課題について、一つの要点からだけでなく広い視野を持って考えることができる。 ・民主主義の本質を考え、現代における労働問題や環境問題などの諸課題を良識のある公民として判断し、自己表現できるになる。
主体的に学習に取り組む姿勢	・日々の生活の中で、法律や政治制度などの変化や、その社会情勢に対応し、環境問題などの社会問題の解決のために自ら考え、主体的に行動することができる。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。



教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学Ⅰ	3	9	3	東京書籍 新数学Ⅰ	

学習の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、数と式、図形と軽量、二次関数及びデータ分析についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)～(4) 数の計算 1.整数の計算	P4～P11
第2回	No.2(1)～(4) 数の計算 2.少数・分数の計算 3.計算の利用	P12～P23
第3回	No.3(1)～(4) 数の計算 4.正負の数の計算	P24～P29
第4回	No.4(1)～(4) 1章 数と式 1節 文字と式	P32～P47
第5回	No.5(1)～(4) 1章 数と式 2節 実数	P48～P57
第6回	No.6(1)～(4) 1章 数と式 3節 方程式と不等式	P58～P71
第7回	No.7(1)～(4) 2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	P74～P91
第8回	No.8(1)～(4) 2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化	P92～P101
第9回	No.9(1)～(4) 3章 三角比 1節 鋭角の三角比	P104～P116

面接指導	学習内容
1時間	No.1(1)～(4) 数の計算 1.整数の計算
2時間	No.6(1)～(4) 1章 数と式 3節 方程式と不等式
3時間	No.7(1)～(4) 2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を既習の知識と関連付け、より深く理解するとともに、日常生活や社会事象の問題発見・解決に向けての基礎となる技能が身につけている。
思考・判断・表現	様々な事象を数理的に捉え、数学的な推論によって問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考え、物事の特徴や事象の変化を抽象し簡潔・明瞭に表現している。
主体的に学習に取り組む姿勢	数学の学ぶ楽しさを実感し粘り強く考え、数学を日常生活や社会事象に活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善している。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に3単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学Ⅱ	4	12	4	東京書籍 新数学Ⅱ	

学習の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、色々な式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分についての基本的な概念原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容	教科書	添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)~(4)1章 方程式・式と証明 1節 式の計算	P4~P11	第7回	No.7(1)~(6)3章 三角関数 2節 加法定理 章のまとめ	P78~P84
第2回	No.2(1)~(4)1章 方程式・式と証明 2節 2次方程式	P12~P19	第8回	No.8(1)~(5) 4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数	P86~P95
第3回	No.3(1)~(4)1章 方程式・式と証明 3節 高次方程式 4節 式と証明	P20~P32	第9回	No.9(1)~(5) 4章 指数関数と対数関数 2節 対数関数	P96~P104
第4回	No.4(1)~(4)2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式	P34~P51	第10回	No.10(1)~(5) 5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数	P106~P115
第5回	No.5(1)~(6)2章 図形と方程式 2節 円の方程式 3節 軌跡と領域	P52~P64	第11回	No.11(1)~(7) 5章 微分と積分 2節 導関数の応用	P116~P123
第6回	No.6(1)~(4)3章 三角関数 1節 三角関数	P66~P77	第12回	No.12(1)~(5) 5章 微分と積分 3節 積分 章のまとめ	P124~P133

面接指導	学習内容
1時間	No.1(1)~(4)1章 方程式・式と証明 1節 式の計算
2時間	No.2(1)~(4)1章 方程式・式と証明 2節 2次方程式
3時間	No.7(1)~(6)3章 三角関数2節 加法定理 章のまとめ
4時間	No.8(1)~(5)4章 指数関数と対数関数1節 指数関数

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	計算方法について理解を深め、数学的に問題解決することができる。
思考・判断・表現	・問題の本質を理解し、表現することができる。 ・解決の過程を振り返り、事象の関係性について考察することができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	粘り強く柔軟に考え、数学の楽しさを改めて認識することができる。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学Ⅲ	3	9	3	東京書籍 新数学Ⅲ	

学習の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。その上で、極限、微分法及び積分法についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力身に付けるようにする。

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)～(6)1章 関数と極限	P8～P23
第2回	No.2(1)～(5)1章 関数と極限	P24～P30
第3回	No.3(1)～(5)1章 関数と極限	P31～P44
第4回	No.4(1)～(6)1章 関数と極限	P45～P67
第5回	No.5(1)～(5)2章 微分	P68～P81
第6回	No.6(1)～(5)2章 微分	P82～P95
第7回	No.7(1)～(6)3章 微分の応用	P96～P107
第8回	No.8(1)～(11)3章 微分の応用	P108～P120
第9回	No.9(1)～(11)4章 積分とその応用	P121～P137

面接指導	学習内容
1時間	No.1(1)～(6)1章 関数と極限
2時間	No.6(1)～(5)2章 微分
3時間	No.7(1)～(6)3章 微分の応用

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・概念や原理・法則などを体系的に理解することができる。 ・既習の知識と関連付け、より深く技能を身に付けることができる。
思考・判断・表現	・性質に着目し、事象しを数学的に考察することができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	・積極的に数が頼を活用し、粘り強く柔軟に考え数学的議論に基づいて判断しようとする ことができる。 ・「数学Ⅱ」の楽手内容より深い内容を取り扱い、全体を通じて質的な向上ができる。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に3単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学A	2	6	2	東京書籍 新数学A	

学習の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力を身に付けてる。

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)~(4) 1章 場合の数と確率 1節 場合の数	P4~P21
第2回	No.2(1)~(4) 1章 場合の数と確率 2節 確率	P22~P29
第3回	No.3(1)~(4) 1章 場合の数と確率 章のまとめ	P30~P37
第4回	No.4(1)~(4) 2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎	P40~P49
第5回	No.5(1)~(4) 2章 図形の性質 2節 三角形の性質	P50~P57
第6回	No.6(1)~(4) 2章 図形の性質 3節 円の性質 4節 空間図形	P58~P75

面接指導	学習内容
1時間	No.1(1)~(4) 1章 場合の数と確率 1節 場合の数
2時間	No.4(1)~(4) 2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、現実の世界事象を数学と結び付け数学的に解釈し、表現・処理する技能を身に付けることができる。
思考・判断・表現	・数学の性質について思考を深め、自らそれを見出し論理的に考察し、適切な活用方法を判断することができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	・数学のよさを認識し数学を活用し、粘り強く数学的根拠に基づいて問題解決をすることができる。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	科学と人間生活	2	6	8	東京書籍 科学と人間生活	

学習の目標
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うなど通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)～(4) 1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	P14～P37
第 2 回	No.2(1)～(4) 1編 生命の科学 2章 人の生命現象	P38～P65
第 3 回	No.3(1)～(4) 2編 物質の科学 1章 衣料と食品 2章 材料とその再利用	P66～P93
第 4 回	No.4(1)～(4) 2編 物質の科学 2章 材料とその再利用	P94～P115
第 5 回	No.5(1)～(4) 3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	P116～P137
第 6 回	No.6(1)～(4) 3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用	P138～P157

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)～(4) 1編 生命の科学1章 微生物とその利用
2 時間	No.1(1)～(4) 1編 生命の科学1章 微生物とその利用
3 時間	No.2(1)～(4) 1編 生命の科学2章 人の生命現象
4 時間	No.3(1)～(4) 2編 物質の科学1章 衣料と食品 2章 材料とその再利用
5 時間	No.4(1)～(4) 2編 物質の科学2章 材料とその再利用
6 時間	No.4(1)～(4) 2編 物質の科学2章 材料とその再利用
7 時間	No.5(1)～(4) 3編 光や熱の科学1章 光の性質とその利用
8 時間	No.6(1)～(4) 3編 光や熱の科学2章 熱の性質とその利用

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・自然と人間生活との関わり及び化学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身に付けることができる。
思考・判断・表現	・観察・実験などを行い、人間生活と連づけて科学的に探究する力を養う。
主体的に学習に取り組む姿勢	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全 6 回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に8単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	物理基礎	2	6	8	東京書籍 新編物理基礎	

学習の目標
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うなどを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)～(4) 1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界	P10～P33
第 2 回	No.2(1)～(4) 1編 物体の運動とエネルギー 2章 力と運動の法則	P34～P73
第 3 回	No.3(1)～(4) 1編 物体の運動とエネルギー 3章 力学的エネルギー	P74～P91
第 4 回	No.4(1)～(4) 2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	P94～P107
第 5 回	No.5(1)～(4) 2編 さまざまな物理現象とエネルギー 2章 波	P108～P133
第 6 回	No.6(1)～(4) 2編 さまざまな物理現象とエネルギー 3章 電気 4章 エネルギーとその利用	P134～P165

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)～(4) 1編 物体の運動とエネルギー1章 直線運動の世界
2 時間	No.1(1)～(4) 1編 物体の運動とエネルギー1章 直線運動の世界
3 時間	No.2(1)～(4) 1編 物体の運動とエネルギー2章 力と運動の法則
4 時間	No.3(1)～(4) 1編 物体の運動とエネルギー3章 力学的エネルギー
5 時間	No.4(1)～(4) 2編 さまざまな物理現象とエネルギー1章 熱
6 時間	No.4(1)～(4) 2編 さまざまな物理現象とエネルギー1章 熱
7 時間	No.5(1)～(4) 2編 さまざまな物理現象とエネルギー2章 波
8 時間	No.6(1)～(4) 2編 さまざまな物理現象とエネルギー3章 電気 4章 エネルギーとその利用

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解することができる。
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通じて問題を見出し考察することができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	・生物に対する興味関心を持っている。 ・生物や生物現象に対して主体的に探究しようとしている。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全 6 回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に8単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	化学基礎	2	6	8	東京書籍新編 化学基礎	

学習の目標
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うなどをして必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	1 編化学と人間生活 1 章化学とは何か 2 章物質の成分と構成元素 1 節物質の成分 2 節物質の構成元素 3 節物質の三態	P7～P33
第 2 回	2 編物質の構成 1 章原子の構造と元素の周期表 1 節原子の構造 2 節電子配置の周期表	P34～P47
第 3 回	2 編物質の構成 2 章化学結合 1 節イオンとイオン結合 2 節分子と共有結合 3 節金属と金属結合 4 節化学結合と物質の分類	P48～P79
第 4 回	3 編物質の変化 1 章物質のと化学反応式 1 節原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 溶液の濃度 4 節化学反応の表し方 5 節化学反応式表す量敵関係	P82～P105
第 5 回	3 編物質の変化 2 章酸と塩基 1 節酸と塩基 2 節水素イオン濃度と pH 3 節中和反応と生成	P106～P135
第 6 回	3 編物質の変化 3 章酸化還元反応 1 節酸化と還元 2 節酸化剤と還元剤 3 節金属の酸化還元反応 4 節酸化還元反応の応用	P136～P167

面接指導	学習内容	面接指導	学習内容
1 時間	1 編化学と人間生活 1 章化学とは何か 2 章物質の成分と構成元素 1 節物質の成分 2 節物質の構成元素 3 節物質の三態	5 時間	3 編物質の変化 1 章物質のと化学反応式 1 節原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 溶液の濃度 4 節化学反応の表し方 5 節化学反応式表す量敵関係
2 時間	1 編化学と人間生活 1 章化学とは何か 2 章物質の成分と構成元素 1 節物質の成分 2 節物質の構成元素 4 節物質の三態	6 時間	3 編物質の変化 1 章物質のと化学反応式 1 節原子量・分子量・式量 2 節物質質量 3 節溶液の濃度 4 節化学反応の表し方 5 節化学反応式の表す量的関係
3 時間	2 編物質の構成 1 章原子の構造と元素の周期表 1 節原子の構造 2 節電子配置の周期表	7 時間	3 編物質の変化 2 章酸と塩基 1 節酸と塩基 2 節水素イオン濃度と pH 3 節中和反応と生成
4 時間	2 編物質の構成 2 章化学結合 1 節イオンとイオン結合 2 節分子と共有結合 3 節金属と金属結合 4 節化学結合と物質の分類	8 時間	3 編物質の変化 3 章酸化還元反応 1 節酸化と還元 2 節酸化剤と還元剤 3 節金属の酸化還元反応 4 節酸化還元反応の応用

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・化学や科学技術が人間生活にどのようなかかわっているか理解することができる。
思考・判断・表現	・化学と科学との関わりにおける問題を見出し、その解決方法を考察することができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	・化学に対する興味・関心を持っている。 ・主体的、意欲的にこれからの化学との関わり方について認識を深める。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全 6 回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
--------	------------------------------

2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に8単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。



教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	生物基礎	2	6	8	東京書籍 新編生物基礎	

学習の目標
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うなど通して、必要な資質・能力育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	1編生物の特徴 1章生物の多様性と共通性1節生物の多様性2節共通性3節細胞の特徴 2章生物とエネルギー1節生体とATP2節酵素のはたらき3節呼吸と光合成	P10～P37
第 2 回	2編遺伝子とそのはたらき 1章遺伝情報とDNA1節生物と遺伝子2節DNAの構造3節DNAの複製と分配 2章遺伝情報とタンパク質の合成 1節タンパク質2節タンパク質と遺伝情報3節細胞の分化と遺伝子	P42～P71
第 3 回	3編ヒトの体の調整 1章人の体を調節するしくみ 1節体内環境2節神経系による情報伝達 3節内分泌系による情報伝達4節血糖濃度の調節	P76～P99
第 4 回	3編ヒトの体の調整 2章免疫のはたらき 1節免疫のしくみ2節免疫の応用3節免疫とさまざまな疾患	P100～P117
第 5 回	4編生物の多様性と生体系 1章植生と遷移 1節身のまわりの植生2節植生の遷移3節遷移とバイオーム	P122～P143
第 6 回	4編生物の多様性と生体系 2章生態系における生物の多様性 1節生態系における生物の多様性2節生態系における生物の関係 3節節生態系と人為的攪乱4節生態系の保全	P144～P165

面接指導	学習内容	面接指導	学習内容
1 時間	1編生物の特徴1章生物の多様性と共通性 1節生物の多様性2節共通性3節細胞の特徴 2章生物とエネルギー 1節生体とATP2節酵素のはたらき3節呼吸と光合成	5 時間	3編ヒトの体の調整 2章免疫のはたらき 1節免疫のしくみ2節免疫の応用3節免疫とさまざまな疾患
2 時間	1編生物の特徴1章生物の多様性と共通性 1節生物の多様性2節共通性3節細胞の特徴 2章生物とエネルギー 1節生体とATP2節酵素のはたらき4節呼吸と光合成	6 時間	3編ヒトの体の調整 2章免疫のはたらき 1節免疫のしくみ2節免疫の応用4節免疫とさまざまな疾患
3 時間	2編遺伝子とそのはたらき 1章遺伝情報とDNA1節生物と遺伝子2節DNAの構造3節DNAの複製と分配 2章遺伝情報とタンパク質の合成1節タンパク質2節タンパク質と遺伝情報3節細胞の分化と遺伝子	7 時間	4編生物の多様性と生体系 1章植生と遷移 1節身のまわりの植生2節植生の遷移 3節遷移とバイオーム
4 時間	3編ヒトの体の調整 1章人の体を調節するしくみ 1節体内環境2節神経系による情報伝達 3節内分泌系による情報伝達4節血糖濃度の調節	8 時間	4編生物の多様性と生体系 2章生態系における生物の多様性1節生態系における生物の多様性 2節生態系における生物の関係3節節生態系と人為的攪乱4節生態系の保全

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解することができる。
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通じて問題を見出し考察することができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	・生物に対する興味関心を持っている。 ・生物や生物現象に対して主体的に探究しようとしている。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全 6 回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に8単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	地学基礎	2	6	8	東京書籍 地学基礎	

学習の目標
自然の構造や地球環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うなど通して、必要な資質・能力育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	1編私たちの大地 1章大地とその動き1節地球と大きさ2節地球の構造3節地球内部の動きとプレート4節大地形の形成と地質構造5節変成岩と変成作用2章火山活動と地震1節火山噴火の多様性2節火成岩3節地震の発生 4 節地震が起こる場所	P14～P49
第 2 回	2編地球の収支1節地球大気 of 構造2節地球で起こる現象3節地球の熱収支 2章大気と海水の運動1節大気や海水の運動の原因2節大気 of 循環 3節海水と運動4節大気と海洋の相互作用	P52～P73
第 3 回	3編私たちの宇宙の誕生 1章宇宙の構造と進化1節宇宙の誕生と宇宙の姿2節太陽系の誕生 3節太陽系の構成4節太陽の特徴5節地球の特徴	P76～P95
第 4 回	4編私たちの地球の歴史1章地層と化石の観察1節地層の形成2節地層からわかる情報 2章古生物の変遷と地球の環境1節地球史の最初期2節先カンブリア時代3節古生代 4節中生代5節新生代6節人類の進化7節地球環境の変化による生物の変遷	P98～P127
第 5 回	5編地球に生きる私たち 1章日本の自然の恵みと防災 1節日本の自然環境の特徴2節日本の自然の恵3節気象災害と防災 4節地震による災害と防災5節火山による災害と防災	P130～P147
第 6 回	5編地球に生きる私たち 終 1 章地球環境の考え方1節地球環境の考え方 終2章自然環境の変動1節自然環境の変化2節人間活動がもたらす自然環境の変化 終3章これからの地球環境1節世界の取り組み2節代替エネルギー3節持続可能な発展へ	P148～P169

面接指導	学習内容	面接指導	学習内容
1 時間	1編私たちの大地 1章大地とその動き1節地球と大きさ2節地球の構造3節地球内部の動きとプレート 4節大地形の形成と地質構造5節変成岩と変成作用 2章火山活動と地震1節火山噴火の多様性2節火成岩3 節地震の発生 4 節地震が起こる場所	5 時間	4編私たちの地球の歴史1章地層と化石の観察1節地層の形成2節地層からわかる情報2章古生物の変遷と地球の環境1節地球史の最初期2節先カンブリア時代3節古生代4節中生代5節新生代6節人類の進化7節地球環境の変化による生物の変遷
2 時間	1編私たちの大地 1章大地とその動き1節地球と大きさ2節地球の構造3節地球内部の動きとプレート 4節大地形の形成と地質構造5節変成岩と変成作用 2章火山活動と地震1節火山噴火の多様性2節火成岩3 節地震の発生 5 節地震が起こる場所	6 時間	4編私たちの地球の歴史1章地層と化石の観察1節地層の形成2節地層からわかる情報2章古生物の変遷と地球の環境1節地球史の最初期2節先カンブリア時代3節古生代4節中生代5節新生代6節人類の進化8節地球環境の変化による生物の変遷
3 時間	2編地球の収支1節地球大気 of 構造2節地球で起こる現象3節地球の熱収支2章大気と海水の運動1節大気や海水の運動の原因2節大気 of 循環 3節海水と運動4節大気と海洋の相互作用	7 時間	5編地球に生きる私たち 1章日本の自然の恵みと防災1節日本の自然環境の特徴2節日本の自然の恵3節気象災害と防災4節地震による災害と防災5節火山による災害と防災
4 時間	3編私たちの宇宙の誕生1章宇宙の構造と進化1節宇宙の誕生と宇宙の姿2節太陽系の誕生 3節太陽系の構成4節太陽の特徴5節地球の特徴	8 時間	5編地球に生きる私たち 終 1 章地球環境の考え方1 節地球環境の考え方終2章自然環境の変動1節自然環境の変化2節人間活動がもたらす自然環境の変化終3 章これからの地球環境1節世界の取り組み2節代替エネルギー3節持続可能な発展へ

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・地球や宇宙に関する基本的な概念や原理・法則を理解することができる。

思考・判断・表現	・防災や環境問題など社会的課題について探究の過程を通じて問題を見出し 考察することができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	・地球や宇宙の事象に対する興味関心を持っている。 ・課題解決に対して主体的に探究しようとしている。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に8単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	体育Ⅰ	3	3	15	東京書籍 現代高等保健体	

学習の目標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決方法に向けた学習過程を通じて、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1 1単元 スポーツの発祥と発展 01スポーツの始まりと変遷	P136~P147
第2回	No.2 1単元 スポーツの発祥と発展 02文化としてのスポーツ	P148~P165
第3回	No.3 1単元 スポーツの発祥と発展 トレーニングについて	P158~P177

面接指導	学習内容	面接指導	学習内容
1時間	No.1 1単元 スポーツの発祥と発展 01スポーツの始まりと変遷	9時間	No.2 1単元 スポーツの発祥と発展 02文化としてのスポーツ
2時間	体づくり運動	10時間	サッカー
3時間	陸上競技	11時間	サッカー
4時間	ダンス	12時間	サッカー
5時間	バレーボール	13時間	サッカー
6時間	バレーボール	14時間	サッカー
7時間	バレーボール	15時間	バスケットボール
8時間	バレーボール		

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を理解しているか ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解しているか
思考・判断・表現	・知識を活用し、技能向上につなげることができる ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫することができる ・運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる
主体的に学習に取り組む姿勢	・公正、協力、責任、参画などの態度を身に付けることができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に15時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	体育Ⅱ	2	2	10	東京書籍 現代高等保健体	

学習の目標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決方法に向けた学習過程を通じて、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1 1単元 スポーツの発祥と発展 03オリンピックとパラリンピックの意義 04スポーツが経済に及ぼす効果 05スポーツの高潔さとドーピング 06スポーツと環境	P144～P200
第2回	No.2 2単元 運動・スポーツの学び方 01スポーツにおける技能と体力 02スポーツにおける技術と戦術 03技能の上達過程と練習 04効果的な動きのメカニズム	P157～P167

面接指導	学習内容	面接指導	学習内容
1時間	No.1 1単元 スポーツの発祥と発展 03オリンピックとパラリンピックの意義 04スポーツが経済に及ぼす効果 05スポーツの高潔さとドーピング 06スポーツと環境	6時間	No.2 2単元 運動・スポーツの学び方 01スポーツにおける技能と体力 02スポーツにおける技術と戦術 03技能の上達過程と練習 04効果的な動きのメカニズム
2時間	体づくり運動	7時間	バレーボール
3時間	陸上競技	8時間	サッカー
4時間	ダンス	9時間	サッカー
5時間	バレーボール	10時間	サッカー

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を理解しているか ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解しているか
思考・判断・表現	・知識を活用し、技能向上につなげることができる ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫することができる ・運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる
主体的に学習に取り組む姿勢	・公正、協力、責任、参画などの態度を身に付けることができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に10時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	体育Ⅲ	2	2	10	東京書籍 現代高等体育	

学習の目標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決方法に向けた学習過程を通じて、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1 2単元 運動・スポーツの学び方 06運動やスポーツでの安全確保 3単元 豊かなスポーツライフの設計 01生涯スポーツの見方・考え方 02ライフスタイルに応じたスポーツ	P176～P187
第2回	No.2 3単元 豊かなスポーツライフの設計 03スポーツを推進する取り組み 04豊かなスポーツライフの創造	P190～P195

面接指導	学習内容	面接指導	学習内容
1時間	No.1 2単元 運動・スポーツの学び方 06運動やスポーツでの安全確保 3単元 豊かなスポーツライフの設計 01生涯スポーツの見方・考え方 02ライフスタイルに応じたスポーツ	6時間	No.2 3単元 豊かなスポーツライフの設計 03スポーツを推進する取り組み 04豊かなスポーツライフの創造
2時間	体づくり運動	7時間	バレーボール
3時間	陸上競技	8時間	サッカー
4時間	ダンス	9時間	サッカー
5時間	バレーボール	10時間	サッカー

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を理解しているか ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解しているか
思考・判断・表現	・知識を活用し、技能向上につなげることができる ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫することができる ・運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる
主体的に学習に取り組む姿勢	・公正、協力、責任、参画などの態度を身に付けることができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に10時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	保健Ⅰ	1	3	1	大修館 現代高等保健体	

学習の目標
保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1 保健編1単元 現代社会と健康	P8～P33
第2回	No.2 保健編1単元 現代社会と健康 2単元 安全な社会生活	P28～P41
第3回	No.3 保健編2単元 安全な社会生活	P44～P74

面接指導	学習内容
1 時間	保健編1単元 現代社会と健康 保健編2単元 安全な社会生活

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解することができ、その技能も獲得する。
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するように、自ら考えることができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	健康の保持増進について理解し、明るく豊かで活力ある生活を目指す姿が見られる。積極的に話し合いに参加し、自他の課題解決に取り組む姿勢がある。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。



令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	保健Ⅱ	1	3	1	大修館現代 高等保健体育	

学習の目標
保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1 保健編3単元 生涯を通じる健康	P76～P87
第2回	No.2 保健編3単元 生涯を通じる健康 保健編4単元 健康を支える環境づくり	P88～P115
第3回	No.3 保健編4単元 健康を支える環境づくり	P116～P129

面接指導	学習内容
1時間	保健編3単元 生涯を通じる健康 保健編4単元 健康を支える環境づくり

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解することができ、その技能も獲得する。
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するように、自ら考えることができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	健康の保持増進について理解し、明るく豊かで活力ある生活を目指す姿が見られる。積極的には話し合いに参加し、自他の課題解決に取り組む姿勢がある。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
芸術	音楽Ⅰ	2	6	8	教育出版 音楽Ⅰ Tutti+	

学習の目標
音楽の基礎的な知識・技能を習得し、表現や鑑賞を通して豊かな感性と創造を育む。生涯にわたり音楽を楽しむ態度を養う。

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1 四季の歌	P20～P57
第2回	No.2 民謡、歌曲	P20～P57
第3回	No.3 世界の声の音楽	P108～
第4回	No.4 楽器の音楽	P108～
第5回	No.5 私たちの郷土の音楽	P46～
第6回	No.6 夏の思い出の魅力を探ろう	P46～

面接指導	学習内容
1時間	校歌を覚える
2時間	校歌を覚える
3時間	No.1 四季の歌
4時間	No.2 民謡、歌曲
5時間	No.3 世界の声の音楽
6時間	No.4 楽器の音楽
7時間	No.5 私たちの郷土の音楽
8時間	No.6 夏の思い出の魅力を探ろう

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	基礎的な歌唱、音楽記号、楽譜の読み方などの理解を含め音量や音色の表現を工夫できる。
思考・判断・表現	音楽の仕組みを分析し曲想や歌詞の内容に応じて表現方法を選択でき自分なりの思いを込めて表現できる。
主体的に学習に取り組む姿勢	音楽学習に対して、意欲的・積極的に取り組み他者と協力し表現できる。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に8単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
芸術	美術Ⅰ	2	6	8	光村図書 美術Ⅰ	

学習の目標
美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や芸術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1 絵画・彫刻の扉	P6～P7
第2回	No.2 アールブリュットの世界	P20～P21
第3回	No.3 北斎・広重からあ広がる世界	P34～P35
第4回	No.4 デザインの扉	P48～P49
第5回	No.5 魅力的なパッケージをつくる	P58～P59
第6回	No.6 柴田文江	P61

面接指導	学習内容	面接指導	学習内容
1時間	No.1 絵画・彫刻の扉	5時間	No.4 デザインの扉
2時間	No.1 絵画・彫刻の扉	6時間	No.5 魅力的なパッケージをつくる
3時間	No.2 アールブリュットの世界	7時間	No.5 魅力的なパッケージをつくる
4時間	No.3 北斎・広重からあ広がる世界	8時間	No.6 柴田文江

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す事ができる。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養わせている。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に8単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	英語 コミュニケー ションⅠ	3	9	12	東京書籍 All AboardⅠ	

学習の目標
英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り・発表)書くことの5つの領域別に設定する 目標の実現を目指した指導を通して資質・能力を一体的に育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書	添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)～(4) Pre-Lesson1 My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ be動詞 Pre-Lesson2 I Like Junk Food ! オレはジャンクフードが好きだ！一般動詞	P8～P19	7時間	No.7(1)～(4) Lesson6 A Funny Picture from theEdo Period 奇想天外な浮世絵師 受け身	P78～P87
第2回	No.2(1)～(4) Lesson1 Breakfast around the World 私の朝ごはん 過去形	P20～P27	8時間	No.8(1)～(4) Lesson7 A Diary of Hope アンネ・フランク 比較表現	P88～P97
第3回	No.3(1)～(4) Lesson2 Australia's cute Quokkas 人なつっこい野生動物 進行形	P28～P37	9時間	No.9(1)～(4) Lesson8 A Door to a New Life ロボットカフェ 現在完了形	P98～P111
第4回	No.4(1)～(4) Lesson3 A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車 助動詞	P38～P47	10時間	No.10(1)～(4) Lesson9 Fighting Plastic Pollution 海の豊かさを守る 名詞を後ろから説明する分詞	P112～P121
第5回	No.5(1)～(4) Lesson4 A Miracle Mirror 夢のような絶景	P48～P59	11時間	No.11(1)～(4) Lesson10 Pigsfrom across the Sea 海の向こうからの贈り物 関係代名詞	P121～P131
第6回	No.6(1)～(4) Lesson5 Learning from the Sea 長浜高校水族館部 動名詞 Reading1 Short Stories in English	P60～P77	12時間	No.12(1)～(4) Reading2 The Wizard of Oz	P132 ～P141

面接指導	学習内容		
1 時間	No.1(1)～(4) Pre-Lesson1 My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ be動詞 Pre-Lesson2 I Like Junk Food ! オレはジャンクフードが好きだ！一般動詞	9時間	No.7(1)～(4) Lesson6 A Funny Picture from theEdo Period 奇想天外な浮世絵師 受け身
2 時間	No.1(1)～(4) Pre-Lesson1 My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ be動詞 Pre-Lesson3 I Like Junk Food ! オレはジャンクフードが好きだ！一般動詞	10時間	No.7(1)～(4) Lesson6 A Funny Picture from theEdo Period 奇想天外な浮世絵師 受け身
3 時間	No.2(1)～(4) Lesson1 Breakfast around the World 私の朝ごはん 過去形	11時間	No.8(1)～(4) Lesson7 A Diary of Hope アンネ・フランク 比較表現

4 時間	No.2(1)~(4) Lesson1 Breakfast around the World 私の朝ごはん 過去形	12時間	No.8(1)~(4) Lesson7 A Diary of Hope アンネ・フランク 比較表現
5 時間	No.3(1)~(4) Lesson2 Australia's cute Quokkas 人なつこい野生動物 進行形	13時間	No.9(1)~(4) Lesson8 A Door to a New Life ロボットカフェ 現在完了形
6 時間	No.4(1)~(4) Lesson3 A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車 助動詞	14時間	No.10(1)~(4) Lesson9 Fighting Plastic Pollution 海の豊かさを守る 名詞を後ろから説明する分詞
7 時間	No.5(1)~(4) Lesson4 A Miracle Mirror 夢のような絶景	15時間	No.11(1)~(4) Lesson10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物 関係代名詞
8 時間	No.6(1)~(4) Lesson5 Learning from the Sea 長浜高校水族館部 動名詞 Reading1 Short Stories in English	16時間	No.12(1)~(4) Reading2 The Wizard of Oz

#### 【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・学習した表現を活用し、相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した表現について、その使い方や使う場面など正しく認識し、適切に使っている。</li> <li>・自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した表現について、その使い方や使う場面など正しく認識し、適切に使おうとしている。</li> <li>・自分の考えをまとめるために相手が理解しやすい情報を整理し、考えや気持ちを話をしたり書いたりして伝え合おうとしている。</li> </ul>

#### 【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に16時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	英語 コミュニケーションⅡ	4	12	16	東京書籍 All AboardⅡ	

学習の目標
英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り・発表)書くことの5つの領域別に設定する 目標の実現を目指した指導を通して資質・能力を一体的に育成することを目標とする。

添削指導	学習内容	教科書	添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)~(4) Pre-Lesson My Plans for This Year 今年やってみたいこと Lesson1 A Colorful Islando ブラーノ島 関係代名詞	P8~P19	7時間	No.7(1)~(4) Lesson6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ 動詞の目的になる if節	P78~P91
第2回	No.2(1)~(4) Lesson2 With the Beatles サムのリクエスト 比較表現	P20~P29	8時間	No.8(1)~(4) Lesson7 Over the Wall アートで世界をつなぐ	P92~P105
第3回	No.3(1)~(4) Lesson3 Wild Men ワイルドマンの世界 itの用法	P30~P41	9時間	No.9(1)~(4) Lesson8 Inspiration from Nature 自分のデザインに学ぶ 知覚動詞	P106~P119
第4回	No.4(1)~(4) Lesson4 Little Hero ハチドリのはずく 関節疑問文	P42~P55	10時間	No.10(1)~(4) Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実 使役動詞	P120~P133
第5回	No.5(1)~(4) Lesson5 Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイクの物語 to不定詞を含む表現	P56~P69	11時間	No.11(1)~(4) Lesson10 Fighting Angel ナイチンゲール	P134~P147
第6回	No.6(1)~(4)Reading 1 Mujina	P70~P77	12時間	No.12(1)~(4) Reading2 Bear's Pie	P148~P155

面接指導	学習内容		
1時間	No.1(1)~(4) Pre-Lesson My Plans for This Year 今年やってみたいこと Lesson1 A Colorful Islando ブラーノ島 関係代名詞	9時間	No.7(1)~(4) Lesson6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ 動詞の目的になる if節
2時間	No.1(1)~(4) Pre-Lesson My Plans for This Year 今年やってみたいこと Lesson1 A Colorful Islando ブラーノ島 関係代名詞	10時間	No.7(1)~(4) Lesson6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ 動詞の目的になる if節
3時間	No.2(1)~(4) Lesson2 With the Beatles サムのリクエスト 比較表現	11時間	No.8(1)~(4) Lesson7 Over the Wall アートで世界をつなぐ
4時間	No.2(1)~(4) Lesson2 With the Beatles サムのリクエスト 比較表現	12時間	No.8(1)~(4) Lesson7 Over the Wall アートで世界をつなぐ

5 時間	No.3(1)~(4) Lesson3 Wild Men ワイルドマンの世界 itの用法	13時間	No.9(1)~(4) Lesson8 Inspiration from Nature 自分のデザインに学ぶ 知覚動詞
6 時間	No.4(1)~(4) Lesson4 Little Hero ハチドリのおしずく 関節疑問文	14時間	No.10(1)~(4) Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実 使役動詞
7 時間	No.5(1)~(4) Lesson5 Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイクの物語 to不定詞を含む表現	15時間	No.11(1)~(4) Lesson10 Fighting Angel ナイチンゲール
8 時間	No.6(1)~(4)Reading 1 Mujina	16時間	No.12(1)~(4) Reading2 Bear's Pie

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・英語の特徴やきまりを理解し、それに基づき一定の支援を活用しながら適切な分を作ることができる。
思考・判断・表現	・話し手や書き手の意図を的確にとらえ、一定の支援を活用しながら情報を整理しまとめることができる。 ・話し手や書き手の意図を的確にとらえ、一定の支援を活用しながら自分なりの考えを伝えることができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	・日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見伝えようとしたり、相手の意見を伝えようとしたり、相手の意見を理解しようとするなど、積極的にコミュニケーションを図ることができる。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に16時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	英語 コミュニケーションⅢ	4	12	16	東京書籍 All AboardⅢ	

学習の目標
聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの5つの領域別の言語活動や複数の領域を結び付けた統合的な活動を通じて、支援をほとんど活用しなくても情報や考え方などを的確に理解し、適切に表現して伝えることができる資質・能力を身に付ける

添削指導	学習内容	教科書	添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)～(4) Lesson1 Gifys to Barcelona 建築物について英語で紹介することができる to不定詞/動名詞	P4～P11	第7回	No.7(1)～(4) Lesson6 The Mystery of the Terracotta Warriors 訪れてみたい史跡について英語でまとまりのある文章を書くことができる 関係代名詞 : 〈, who〉 〈, which〉	P54～P63
第2回	No.2(1)～(4) Lesson2 Akkamui 生物の特徴について英語で説明することができる 現在完了形	P12～P19	第8回	No.8(1)～(4) Lesson7 Green Challenges 再生可能エネルギーについて国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる 比較表現	P64～P73
第3回	No.3(1)～(4) Lesson3 YourTrue Colors ファッションについて英語でインタビューすることができる 使役動詞	P20～P27	第9回	No.9(1)～(4) Lesson8 Witnesses of War 経験したことや考えたことについて英語でまとまりのある文章を書くことができる 名詞を後ろから説明する分詞	P74～P83
第4回	No.4(1)～(4) Lesson4 Our Future Food 食糧問題について英語でミニディベートをすることができる 受け身	P28～P37	第10回	No.10(1)～(4) Lesson9 The Wonders of Lightning 電気の有効活用について英語でミニディベートをすることができる 仮定法過去	P84～P95
第5回	No.5(1)～(4) Lesson5 Madagascar 地域の自然について英語でプレゼンテーションをすることができる 関係代名詞	P38～P47	第11回	No.11(1)～(4) Lesson10 Katherine's Long Journey 社会に影響を与えた人物について英語でエッセイを書くことができる 関係代名詞 Whose	P96～P105
第6回	No.6(1)～(4) Reading1 The Fun They Had	P48～P53	第12回	No.12(1)～(4) Reading2 Table for Two	P106～P111

面接指	学習内容		
1 時間	No.1(1)～(4) Lesson1 Gifys to Barcelona 建築物について英語で紹介することができる to不定詞/動名詞	9時間	No.7(1)～(4) Lesson6 The Mystery of the Terracotta Warriors 訪れてみたい史跡について英語でまとまりのある文章を書くことができる 関係代名詞 : 〈, who〉 〈, which〉
2 時間	No.1(1)～(4) Lesson1 Gifys to Barcelona 建築物について英語で紹介することができる to不定詞/動名詞	10時間	No.8(1)～(4) Lesson7 Green Challenges 再生可能エネルギーについて国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる 比較表現
3 時間	No.2(1)～(4) Lesson2 Akkamui 生物の特徴について英語で説明することができる 現在完了形	11時間	No.8(1)～(4) Lesson7 Green Challenges 再生可能エネルギーについて国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる 比較表現
4 時間	No.3(1)～(4) Lesson3 YourTrue Colors ファッションについて英語でインタビューすることができる 使役動詞	12時間	No.9(1)～(4) Lesson8 Witnesses of War 経験したことや考えたことについて英語でまとまりのある文章を書くことができる 名詞を後ろから説明する分詞
5 時間	No.4(1)～(4) Lesson4 Our Future Food 食糧問題について英語でミニディベートをすることができる 受け身	13時間	No.10(1)～(4) Lesson9 The Wonders of Lightning 電気の有効活用について英語でミニディベートをすることができる 仮定法過去



6 時間	No.5(1)~(4) Lesson5 Madagascar 地域の自然について英語でプレゼンテーションをすることができる 関係代名詞	14時間	No.11(1)~(4) Lesson10 Katherine's Long Journey 社会に影響を与えた人物について英語でエッセイを書くことができる 関係代名詞 Whose
7 時間	No.6(1)~(4) Reading1 The Fun They Had	15時間	No.12(1)~(4) Reading2 Table for Two
8 時間	No.6(1)~(4) Reading1 The Fun They Had	16時間	No.12(1)~(4) Reading2 Table for Two

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・ 外国語の発音や語彙、表現、文法の知識を身に付け、実際のコミュニケーションとして4技能をバランスよく運用できる技能を身に付けている
思考・判断・表現	・ 幅広い話題について、学習した内容を使って、情報や考えなどを端的に目止めて、かつ詳細に伝えようとしている
主体的に学習に取り組む姿勢	・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に学習した内容を用いてコミュニケーションを図るとともに他者に配慮して自分の意見や考えを表現しようとしている

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に16時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。





教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	論理・表現Ⅰ	2	6	8	NEW FAVORITEⅠ	

学習の目標
話すこと「やり取り」、話すこと「発表」、書くことの3つの領域別に設定された目標の達成を目指しながら、各領域を統合した言語活動を通じて、英語で発信する能力を養う

添削指導	学習内容	教科書
第 1 回	No.1(1)~(4) Unit1 Lesson1初めての食事 ・褒める・勧める・断る Lesson2道に迷う ・提案する・依頼する・説明する Lesson3人物紹介 ・紹介する・注意を引く	P14~P31
第 2 回	No.2(1)~(4) Unit1 Lesson4体調が悪い ・体調を伝える・体調を尋ねる・指示、アドバイスを Lesson5買い物 ・描写する・相づちを打つ Lesson6行ってみたい場所 ・希望を述べる・理由を述べる	P32~P49
第 3 回	No.3(1)~(4) Unit1 Lesson7イベントに誘われる・誘う・誘いに受ける・誘いを断る Lesson8 スクールカウンセラーに相談 ・状況を説明する・申し出る・助言、提案する・感謝する Lesson9お気に入りを紹介 ・要約し、紹介する・感謝や批評を述べる	P50~P67
第 4 回	No.4(1)~(4) Unit1 Lesson10待ち合わせに遅刻 ・謝る・許す・励ます Lesson11家庭でのディスカッション ・共感を述べる・残念な気持ちを述べる・解決策を提案する Lesson12英字新聞に投稿 ・要望や主張を述べる・理由を述べる	P68~P87
第 5 回	No.5(1)~(4) Unit2 Lesson1クラスでディベート① ・理由を述べる・例を挙げる Lesson2クラスでディベート② ・反駁する・引用する Lesson3経験談のスピーチ ・描写する・経験からアドバイスを Lesson4遊びやスポーツを紹介 ・順序立てて説明する・聞き手の知識に合わせて説明する	P88~P111
第 6 回	No.6(1)~(4) Unit2 Lesson5日本をPR ・事実と意見を区別して述べる・文化や習慣を説明する Lesson6物事の両面を伝える ・利点と欠点を述べる・話題を発展させる・話題を変える Lesson7読み手を納得させる ・主張を説明する・要約する Lesson8読み手を説得する ・引用する・条件を出して意見を述べる・説得する	P112~P1345

面接指導	学習内容
1 時間	No.1(1)~(4) Unit1 Lesson1初めての食事~Lesson3人物紹介
2 時間	No.1(1)~(4) Unit1 Lesson1初めての食事~Lesson3人物紹介
3 時間	No.2(1)~(4) Unit1 Lesson4~Lesson4体調が悪い~Lesson6行ってみたい場所
4 時間	No.3(1)~(4) Unit1 Lesson7イベントに誘われる~Lesson9お気に入りを紹介
5 時間	No.4(1)~(4) Unit1 Lesson10待ち合わせに遅刻~Lesson12英字新聞に投稿
6 時間	No.4(1)~(4) Unit1 Lesson10待ち合わせに遅刻~Lesson12英字新聞に投稿
7 時間	No.5(1)~(4) Unit2 Lesson1クラスでディベート~Lesson4遊びやスポーツを紹介
8 時間	No.6(1)~(4) Unit2 Lesson5日本をPR~Lesson8読み手を説得する

【学習評価】	
評価観点	評価基準

知識・技能	・外国語の発音や語彙、表現、文法の知識を身に付け、実際のコミュニケーションとして4技能をバランスよく運用できる技能を身に付けている
思考・判断・表現	・幅広い話題について、学習した内容を使って、情報や考えなどを端的に目止めて、かつ詳細に伝えようとしている
主体的に学習に取り組む姿勢	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に学習した内容を用いてコミュニケーションを図るとともに他者に配慮して自分の意見や考えを表現しようとしている

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に8時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
家庭	家庭基礎	2	4	4	東京書籍 701 家庭基礎	

学習の目標
人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図ると共に、それらに係る技能を身につける

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)～(4)1章生涯を見通す～2章人生をつくる	P12～P37
第2回	No.2(1)～(4)3章子どもと共に育つ～4章超高齢社会を共に生きる	P38～P77
第3回	No.3(1)～(4)5章共に生き共に支える～6章食生活をつくる	P78～P118
第4回	No.4(1)～(4)7章衣生活をつくる	P119～P163
第5回	No.5(1)～(4)8章柱生活をつくる	P164～P183
第6回	No.6(1)～(4)9章経済生活を営む	P184～P213

面接指導	学習内容
1時間	No.1(1)～(4)1章生涯を見通す～2章人生をつくる
	No.2(1)～(4)3章子どもと共に育つ～4章超高齢社会を共に生きる
2時間	No.3(1)～(4)5章共に生き共に支える～6章食生活をつくる
	No.4(1)～(4)7章衣生活をつくる
3時間	No.5(1)～(4)8章柱生活をつくる
4時間	No.6(1)～(4)9章経済生活を営む

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
家庭	生活産業基礎	2	6	4	なし	

学習の目標
衣食住やヒューマンサービスなど、人々の生活を支える産業や関連する職業について、 実践的・体験的な活動を通して基礎的な知識と技能を習得し、それを活用して 自らの生活を主体的に工夫・創造する能力と実践的な態度を育む

添削指導	学習内容
第1回	No.1生活産業社会を学ぶにあたって
第2回	No.2ライフスタイルの変化と生活産業
第3回	No.3ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供
第4回	No.4生活産業と職業
第5回	No.5生活産業と自己実現
第6回	No.6生活産業と自己実現

面接指導	学習内容
1時間	No.1生活産業社会を学ぶにあたって
2時間	No.2ライフスタイルの変化と生活産業
3時間	No.3ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供 No.4生活産業と職業
4時間	No.5、6生活産業と自己実現

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
家庭	課題研究	2	6	4	なし	

学習の目標
自らの課題設定・計画・実行・発表のプロセスを通じて、深い知識・技能の習得、多様な情報へのアクセスと分析能力、論理的な思考力と表現力の向上、そして仲間と協力して課題に取り組む協働力や探究する意欲の養成

添削指導	学習内容
第1回	No.1自律的な課題設定と計画立案
第2回	No.2主体的な情報収集・分析・考察
第3回	No.3ものづくりや調査
第4回	No.4研究活動の実践
第5回	No.5研究成果の整理
第6回	No.6研究成果の発表

面接指導	学習内容
1時間	No.1自律的な課題設定と計画立案 No.2主体的な情報収集・分析・考察
2時間	No.3ものづくりや調査
3時間	No.4研究活動の実践 No.5研究成果の整理
4時間	No.6研究成果の発表

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。



令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
家庭	保育基礎	2	6	4	なし	

学習の目標
保育の意識や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身につける 子どもひとりひとりの発達に適した保育環境を整えることの重要性について思考し、地域の保育や子育てに寄与できる 資質・能力を育成する

添削指導	学習内容
第1回	No.1人間としての発達
第2回	No.2乳幼児の発育・発達
第3回	No.3乳幼児の精神発達
第4回	No.4乳幼児の生活
第5回	No.5乳幼児の保育
第6回	No.6乳幼児の福祉

面接指導	学習内容
1時間	No.1人間としての発達 No.2乳幼児の発育・発達
2時間	No.3乳幼児の精神発達
3時間	No.4乳幼児の生活 No.5乳幼児の保育
4時間	No.6乳幼児の福祉

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
家庭	保育実践	2	6	4	なし	

学習の目標
家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、保育を担う職業人として必要な資質・能力を育成する

添削指導	学習内容
第1回	No.1子どもの表情活動と保育
第2回	No.2子どもの表情活動と保育
第3回	No.3子育て支援と保育
第4回	No.4子育て支援と保育
第5回	No.5保育の活動計画と実習
第6回	No.6保育の活動計画と実習

面接指導	学習内容
1時間	子どもの表情活動と保育
2時間	子育て支援と保育
3時間	保育の活動計画と実習
4時間	保育の活動計画と実習

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
家庭	フードデザイン	2	6	4	なし	

学習の目標
<p>栄養・食品・献立・調理・テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得する</p> <p>食生活を総合的にデザインするとともに、家庭や地域において食育の推進に主体的に取り組むことができる資質・能力を育成する</p>

添削指導	学習内容
第1回	No.1食生活のデザイン
第2回	No.2食品の企画
第3回	No.3食品の開発
第4回	No.4食文化の創造
第5回	No.5ユニバーサルデザインフードの活用
第6回	No.6食文化デザインにおけるフードデザイン

面接指導	学習内容
1時間	No.1食生活のデザイン
	No.2食品の企画
2時間	No.3食品の開発
	No.4食文化の創造
3時間	No.5ユニバーサルデザインフードの活用
4時間	No.6食文化デザインにおけるフードデザイン

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
情報	情報Ⅰ	2	4	4	東京書籍 新編 情報Ⅰ	

学習の目標
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する

添削指導	学習内容	教科書
第1回	No.1(1)~(4)情報で問題を解決する	P5~P32
第2回	No.2(1)~(4)情報を伝える	P33~P60
第3回	No.3(1)~(4)コンピューターを活用する	P61~P88
第4回	No.4(1)~(4)データを活用する	P89~P116

面接指導	学習内容
1時間	No.1(1)~(4)情報で問題を解決する
2時間	No.2(1)~(4)情報を伝える
3時間	No.3(1)~(4)コンピューターを活用する
4時間	No.4(1)~(4)データを活用する

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	情報技術を問題は発見・解決に活用する基礎知識と、コンピューターやネットワークの仕組みの理解、データ分析、プログラミング能力を養う
思考・判断・表現	課題の目的を明確にし、情報を適切に分析・理解する力を身につけ自分の考えを論理的に整理し、相手にわかりやすく伝えられる
主体的に学習に取り組む姿勢	知識・技能を習得したり、思考力・判断力・表現力を身につけたりすることに向けて、粘り強く努力している

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
商業	ビジネス基礎	2	6	4	なし	

学習の目標

ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに  
ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う

添削指導	学習内容
第1回	No.1商業の学習とビジネス
第2回	No.2ビジネスに対する心構え
第3回	No.3経済と流通
第4回	No.4取引とビジネス計算
第5回	No.5企業活動
第6回	No.6身近な地域のビジネス

面接指導	学習内容
1時間	No.1商業の学習とビジネス No.2ビジネスに対する心構え
2時間	No.3経済と流通 No.4取引とビジネス計算
3時間	No.5企業活動
4時間	No.6身近な地域のビジネス

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
商業	ビジネス マネジメント	2	6	4	なし	

学習の目標
ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う

添削指導	学習内容
第1回	No.1ビジネス
第2回	No.2マネジメント
第3回	No.3組織のマネジメント
第4回	No.4経営資源のマネジメント
第5回	No.5企業の秩序と責任
第6回	No.6ビジネスの創造と展開

面接指導	学習内容
1時間	No.1ビジネス No.2マネジメント
2時間	No.3組織のマネジメント No.4経営資源のマネジメント
3時間	No.5企業の秩序と責任
4時間	No.6ビジネスの創造と展開

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
福祉	介護福祉基礎	2	6	4	なし	

学習の目標
社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、 社会福祉の展開に関する課題を発見し、 職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う

添削指導	学習内容
第1回	No.1社会福祉の理念
第2回	No.2社会福祉の意義
第3回	No.3人間関係とコミュニケーション
第4回	No.4社会福祉思想の流れ
第5回	No.5社会福祉への展望
第6回	No.6生活を支える社会保障制度

面接指導	学習内容
1時間	No.1社会福祉の理念 No.2社会福祉の意義
2時間	No.3人間関係とコミュニケーション No.4社会福祉思想の流れ
3時間	No.5社会福祉への展望
4時間	No.6生活を支える社会保障制度

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	介護福祉基礎	2	6	4	なし	

学習の目標
介護について体系的・系統的に理解するとともに、 介護の展開に関する課題を発見し、 職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う

添削指導	学習内容
第1回	No.1介護の意義
第2回	No.2介護の役割
第3回	No.3介護福祉の担い手
第4回	No.4介護を必要とする人の理解
第5回	No.5介護を必要とする人の介護
第6回	No.6介護における安全確保と危機管理

面接指導	学習内容
1時間	No.1介護の意義 No.2介護の役割
2時間	No.3介護福祉の担い手 No.4介護を必要とする人の理解
3時間	No.5介護を必要とする人の介護
4時間	No.6介護における安全確保と危機管理

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。



令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
福祉	生活支援技術	2	6	4	なし	

学習の目標
生活支援支援の科学的根拠に基づいた基礎知識・技術を習得し、 人間の尊重や自立を支援するために利用者一人ひとりに合わせた応用的な技術を 実践できるようになること

添削指導	学習内容
第1回	No.1生活支援の理解
第2回	No.2自立に向けた生活支援
第3回	No.3緊急時・災害時の支援
第4回	No.4終末期の支援
第5回	No.5医療的ケア
第6回	No.6まとめ

面接指導	学習内容
1時間	No.1生活支援の理解 No.2自立に向けた生活支援
2時間	No.3緊急時・災害時の支援 No.4終末期の支援
3時間	No.5医療的ケア
4時間	No.6まとめ

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	こころとからだの理解	2	6	4	なし	

学習の目標
心身の体系的・系統的な理解、関連する技術の習得、 「思いやりの心」や他者への支援につながる資質・能力の育成

添削指導	学習内容
第1回	No.1心身の理解
第2回	No.2関連技術の習得
第3回	No.3資質・能力の育成
第4回	No.4実践・体験を通じた理解
第5回	No.5高齢者や障害者の心理
第6回	No.6高齢者や障害者の身体的特徴

面接指導	学習内容
1時間	No.1心身の理解 No.2関連技術の習得
2時間	No.3資質・能力の育成 No.4実践・体験を通じた理解
3時間	No.5高齢者や障害者の心理
4時間	No.6高齢者や障害者の身体的特徴

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
福祉	介護総合演習	2	6	4	なし	

学習の目標
実習や事例研究を通して、利用者の生活を理解し、 多職種連携の中で介護過程を実践する基礎能力を習得する

添削指導	学習内容
第1回	No.1訪問介護
第2回	No.2デイサービスセンター
第3回	No.3通所リハビリテーション
第4回	No.4特別養護老人ホーム
第5回	No.5介護老人保護施設
第6回	No.6養護老人ホーム

面接指導	学習内容
1時間	No.1訪問介護 No.2デイサービスセンター
2時間	No.3通所リハビリテーション No.4特別養護老人ホーム
3時間	No.5介護老人保護施設
4時間	No.6養護老人ホーム

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	スポーツ演習Ⅰ	4	4	20	なし	

学習の目標
生涯を通じてスポーツを楽しみ、健康を維持すること、 スポーツの実践を通じた体力の向上と健康づくり

添削指導	学習内容
第1回	No.1体力・健康の向上
第2回	No.2生涯スポーツの確立
第3回	No.3技術・戦術の修得Ⅰ
第4回	No.4安全意識の向上

面接指導	学習内容		
1時間	No.1体力・健康の向上	11時間	No.3技術・戦術の修得Ⅰ
2時間		12時間	
3時間		13時間	
4時間		14時間	
5時間		15時間	
6時間	No.2生涯スポーツの確立	16時間	No.4安全意識の向上
7時間		17時間	
8時間		18時間	
9時間		19時間	
10時間		20時間	

【学習評価】

評価観点

評価基準

知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 20時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	スポーツ演習Ⅱ	4	4	20	なし	

学習の目標
生涯を通じてスポーツを楽しむ、健康を維持すること、 スポーツの実践を通じた体力の向上と健康づくり 技術・戦術の修得、仲間との協調性やマナーの理解

添削指導	学習内容
第1回	No.1健康的なウォーキング
第2回	No.2長く行えるスポーツ
第3回	No.3技術・戦術の修得Ⅱ
第4回	No.4社会的スキル

面接指導	学習内容		
1時間	No.1健康的なウォーキング	11時間	No.3技術・戦術の修得Ⅱ
2時間		12時間	
3時間		13時間	
4時間		14時間	
5時間		15時間	
6時間	No.2長く行えるスポーツ	16時間	No.4社会的スキル
7時間		17時間	
8時間		18時間	
9時間		19時間	
10時間		20時間	

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 20時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	スポーツ演習Ⅲ	4	4	20	なし	

学習の目標
生涯を通じてスポーツを楽しむ、健康を維持すること、 スポーツの実践を通じた体力の向上と健康づくり 技術・戦術の修得、仲間との協調性やマナーの理解 スポーツを自律的に行える資質の育成

添削指導	学習内容
第1回	No.1スポーツ指導法
第2回	No.2スポーツのマナー
第3回	No.3技術・戦術の修得Ⅲ
第4回	No.4自律的な実践力

面接指導	学習内容		
1時間	No.1スポーツ指導法	11時間	No.3技術・戦術の修得Ⅲ
2時間		12時間	
3時間		13時間	
4時間		14時間	
5時間		15時間	
6時間	No.2スポーツのマナー	16時間	No.4自律的な実践力
7時間		17時間	
8時間		18時間	
9時間		19時間	
10時間		20時間	

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 20時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	スポーツ科学Ⅰ	2	6	2	なし	

学習の目標
運動技能の向上、心身の健康保持増進、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現、 そしてスポーツの社会的意義の理解と貢献

添削指導	学習内容
第1回	No.1スポーツ科学とは
第2回	No.2各種目の特性
第3回	No.3心と体の関係性
第4回	No.4スポーツライフ
第5回	No.5スポーツマネジメント
第6回	No.6スポーツ心理学

面接指導	学習内容
1時間	No.1スポーツ科学 No.2各種目の特性 No.3心と体の関係性
2時間	No.4スポーツライフ No.5スポーツマネジメント No.6スポーツ心理学

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 2時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	スポーツ科学Ⅲ	2	6	2	なし	

学習の目標
科学的な知見を基にパフォーマンスを最大限に引き出し、ケガを予防する能力を養う 競技者と指導者として専門性を高める

添削指導	学習内容
第1回	No.1解剖学
第2回	No.2バイオメカニクス
第3回	No.3運動生理学
第4回	No.4トレーニングの基礎
第5回	No.5トレーニング方法論
第6回	No.6運動指導法

面接指導	学習内容
1時間	No.1解剖学 No.2バイオメカニクス No.3運動生理学
2時間	No.4トレーニングの基礎 No.5トレーニング方法論 No.6運動指導法

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、 自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 2時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。



令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	スポーツ科学Ⅲ	2	6	2	なし	

学習の目標
競技スポーツの世界だけでなく、健康増進、スポーツビジネス、教育、医療、福祉など幅広い分野で活躍できるように知識、技能を身につける

添削指導	学習内容
第1回	No.1生涯スポーツと健康
第2回	No.2スポーツとビジネス
第3回	No.3スポーツと教育
第4回	No.4スポーツ医療
第5回	No.5スポーツと福祉
第6回	No.6スポーツと幼児教育

面接指導	学習内容
1時間	No.1生涯スポーツと健康 No.2スポーツとビジネス No.3スポーツと教育
2時間	No.4スポーツと医療 No.5スポーツと福祉 No.6スポーツと幼児教育

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	音楽演習Ⅰ	4	4	20	なし	

学習の目標

音楽の表現の技能を身につけ、豊かな感性を育み、音楽を愛好する態度を養う
-------------------------------------

添削指導	学習内容
第1回	No.1音楽の歴史
第2回	No.2音楽の概要
第3回	No.3音楽の発展
第4回	No.4音楽の未来

面接指導	学習内容		
1時間	No.1音楽の歴史	11時間	No.3音楽の発展
2時間		12時間	
3時間		13時間	
4時間		14時間	
5時間		15時間	
6時間	No.2音楽の概要	16時間	No.4音楽の未来
7時間		17時間	
8時間		18時間	
9時間		19時間	
10時間		20時間	

【学習評価】

知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に20時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	音楽演習Ⅱ	4	4	20	なし	

学習の目標
様々な音楽に触れてその良さを味わい、音楽文化を理解する力を高める

添削指導	学習内容
第1回	No.1音楽の祭典
第2回	No.2日本の音楽
第3回	No.3世界の音楽
第4回	No.4民謡

面接指導	学習内容		
1時間	No.1音楽の祭典	11時間	No.3世界の音楽
2時間		12時間	
3時間		13時間	
4時間		14時間	
5時間		15時間	
6時間	No.2日本の音楽	16時間	No.4民謡
7時間		17時間	
8時間		18時間	
9時間		19時間	
10時間		20時間	

【学習評価】

知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に20時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	音楽演習Ⅲ	4	4	20	なし	

学習の目標
「音楽的な見方・考え方」を働かせ、自己のイメージや感情と音楽を関連づけながら主体的に活動する力を育成する

添削指導	学習内容
第1回	No.1音楽の始まり
第2回	No.2日本の音楽家
第3回	No.3世界の音楽家
第4回	No.4これからの音楽

面接指導	学習内容		
1時間	No.1音楽の始まり	11時間	No.3世界の音楽家
2時間		12時間	
3時間		13時間	
4時間		14時間	
5時間		15時間	
6時間	No.2日本の音楽家	16時間	No.4これからの音楽
7時間		17時間	
8時間		18時間	
9時間		19時間	
10時間		20時間	

【学習評価】

知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に20時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	自分探し演習Ⅰ	2	4	4	なし	

学習の目標
自分の興味・関心、価値観、強み・弱みなどを深く理解する

添削指導	学習内容
第1回	No.1面接
第2回	No.2面接
第3回	No.3面接
第4回	No.4面接

面接指導	学習内容
1時間	No.1面接
2時間	No.2面接
3時間	No.3面接
4時間	No.4面接

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	自分探し演習Ⅱ	2	4	4	なし	

学習の目標
課題発見、情報収集、分析、まとめ、発表の一連の探究プロセスを経験し、探究的な見方・考え方を身に付ける

添削指導	学習内容
第1回	No.1身だしなみ
第2回	No.2身だしなみ
第3回	No.3身だしなみ
第4回	No.4身だしなみ

面接指導	学習内容
1時間	No.1身だしなみ
2時間	No.2身だしなみ
3時間	No.3身だしなみ
4時間	No.4身だしなみ

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	自分探し演習Ⅲ	2	4	4	なし	

学習の目標
探究学習で培ったスキルや姿勢を、今後の人生においても継続的な学習や成長に活かしていく基礎を築く

添削指導	学習内容
第1回	No.1履歴書の書き方
第2回	No.2履歴書の書き方
第3回	No.3履歴書作成
第4回	No.4履歴書作成

面接指導	学習内容
1時間	No.1履歴書の書き方
2時間	No.2履歴書の書き方
3時間	No.3履歴書作成
4時間	No.4履歴書作成

【学習評価】

評価観点                      評価基準

知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	学び直しⅠ	2	6	2	なし	

学習の目標
生徒が自らのキャリア形成に沿って主体的に学びなおす

添削指導	学習内容
第1回	No.1作文の書き方
第2回	No.1作文の基本構成
第3回	No.2作文の書き方②
第4回	No.2作文の出題傾向
第5回	No.3作文の構成
第6回	No.4作文まとめ

面接指導	学習内容
1時間	No.1作文の書き方
	No.1作文の基本構成
	No.2作文の書き方②
2時間	No.2作文の出題傾向
	No.3作文の構成
	No.4作文まとめ

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。



令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	学び直しⅠ	2	6	2	なし	

学習の目標
生徒が自らのキャリア形成に沿って主体的に学びなおす

添削指導	学習内容
第1回	No.1小論文の書き方
第2回	No.1小論文の書き方
第3回	No.2小論文の基本
第4回	No.2小論文の基本
第5回	No.3大学受験における小論文の出題傾向
第6回	No.4小論文の上達のコツ

面接指導	学習内容
1時間	No.1小論文の書き方
	No.1小論文の書き方
	No.2小論文の基本
2時間	No.2小論文の基本
	No.3大学受験における小論文の出題傾向
	No.4小論文の上達のコツ

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	修得した技能や知識を基に関連付け、より深く理解し、応用できる
思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、資料やグラフを読み取り情報を活用する力、自分の言葉でわかりやすく表現する力
主体的に学習に取り組む姿勢	学習過程の中で粘り強く学習でき計画的かつ調整して学習ができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	史跡巡りⅠ	2	6	2	なし	

学習の目標
史跡について知識・教養を深め新たな発見をめぐり深める

添削指導	学習内容
第1回	No.1史跡とは
第2回	No.2自分で選んだ史跡
第3回	No.3自分の住んでいる都道府県の史跡について
第4回	No.4レポートNo.3で選んだ史跡をめぐるルートを考えてみよう
第5回	No.5自分の住んでいる都道府県以外の史跡について調べよう
第6回	No.6レポートNo.5で選んだ史跡をめぐるルートを考えてみよう

面接指導	学習内容
1時間	No.1史跡とは
	No.2自分で選んだ史跡
	No.3自分の住んでいる都道府県の史跡について
2時間	No.4レポートNo.3で選んだ史跡をめぐるルートを考えてみよう
	No.5自分の住んでいる都道府県以外の史跡について調べよう
	No.6レポートNo.5で選んだ史跡をめぐるルートを考えてみよう

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	史跡を調べることを通じて、歴史的な出来事や人物、文化などに関する知識を獲得し、史跡の構造や特徴を理解したり、地図を読んだり、解説文を読解したりする技能を修得する
思考・判断・表現	史跡探究を通じて得た知識を活用し筋道を立てて考察する力、多様な情報から判断する力、その成果を自ら説明する力をつける
主体的に学習に取り組む姿勢	積極的に史跡を探索し広い視野を持って取り組んでいるか

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	史跡巡りⅡ	2	6	2	なし	

学習の目標
史跡巡りⅠの成果を基に史跡について知識・教養を深め新たな発見をめぐり深める

添削指導	学習内容
第1回	No.1特別史跡について調べよう
第2回	No.2レポートNo.1でまとめた史跡から1つ選びまとめなさい
第3回	No.3レポートNo.2で選んだ史跡をめぐるルートを考えてみましょう
第4回	No.4ユネスコ世界遺産のうち、文化遺産について調べなさい
第5回	No.4で調べた日本にあるユネスコ文化遺産から1つ選びまとめなさい
第6回	日本以外にあるユネスコ文化遺産から1つ選びまとめなさい

面接指導	学習内容
1 時間	No.1特別史跡について調べよう
	No.2レポートNo.1でまとめた史跡から1つ選びまとめなさい
	No.3レポートNo.2で選んだ史跡をめぐるルートを考えてみましょう
2 時間	No.4ユネスコ世界遺産のうち、文化遺産について調べなさい
	No.4で調べた日本にあるユネスコ文化遺産から1つ選びまとめなさい
	日本以外にあるユネスコ文化遺産から1つ選びまとめなさい

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	史跡を調べることを通じて、歴史的な出来事や人物、文化などに関する知識を獲得し、史跡の構造や特徴を理解したり、地図を読んだり、解説文を読解したりする技能を修得する。
思考・判断・表現	史跡探究を通じて得た知識を活用し筋道を立てて考察する力、多様な情報から判断する力、
主体的に学習に取り組む姿勢	積極的に史跡を探索し広い視野を持って取り組んでいるか

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	野外活動Ⅰ	1	1	5	なし	

学習の目標

集団で活動する中で心身の調和をとれた発達を図り、自主的・実践的な態度を育む

添削指導	学習内容
第1回	野外生活について学ぶ

面接指導	学習内容
1 時間	火熾し、ロープワーク
2 時間	登山、サイクリング
3 時間	キャンプ
4 時間	自然観察、自然理解
5 時間	調理について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	生きるための本質的な力を身に付ける
思考・判断・表現	集団行動や個人行動で自ら課題を発見し改善しようとすることができる
主体的に学習に取り組む姿勢	積極的に集団行動活動に参加している

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全1回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に5時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	野外活動	1	1	5	なし	

学習の目標
自然との触れ合いを通して自然への理解を深め、豊かな人間性や協調性、自己肯定感を育成する

添削指導	学習内容
第1回	遠泳について学ぶ

面接指導	学習内容
1 時間	水について知識をつける
2 時間	水害について
3 時間	泳ぎ方
4 時間	救助法
5 時間	遠泳について調べる

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	生きるための本質的な力を身に付ける
思考・判断・表現	集団行動や個人行動で自ら課題を発見し改善しようとすることができる
主体的に学習に取り組む姿勢	積極的に集団行動活動に参加している

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全1回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に5時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	産業社会と人間Ⅰ	2	4	4	なし	

学習の目標

職業や進路選択に必要とされる能力・態度を育み、自己の生きがいや生涯学習の意欲を育成する

添削指導	学習内容
第1回	自分について考えてみよう
第2回	故郷について調べてみよう
第3回	今までの歩みについて振り返ってみよう
第4回	今住んでいる場所について考えてみよう

面接指導	学習内容
1時間	自分について考えてみよう
2時間	故郷について調べてみよう
3時間	今までの歩みについて振り返ってみよう
4時間	今住んでいる場所について考えてみよう

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	将来のキャリアやライフプランを考えるうえで、必要な知識を理解する
思考・判断・表現	「豊かな人生とは何か」について主体的に考えることができ、そのためにはどのような選択をしたらよいのか、必要な情報収集をして自ら考えることができる
主体的に学習に取り組む姿勢	キャリア学習の土台となる自己理解について、何事も「まずやってみる」ことで理解を深めているか、また仲間と協働することで、対話的で深い学びができていくか。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	産業社会と人間Ⅱ	2	4	4	なし	

学習の目標
職業や進路選択に必要とされる能力・態度を育み、自己の生きがいや生涯学習の意欲を育成する

添削指導	学習内容
第1回	高校1年生を振り返ってみよう
第2回	地球環境について
第3回	「働く」ということについて考えてみよう
第4回	自然災害について

面接指導	学習内容
1時間	高校1年生を振り返ってみよう
2時間	地球環境について
3時間	「働く」ということについて考えてみよう
4時間	自然災害について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	将来のキャリアやライフプランを考えるうえで、必要な知識を理解する
思考・判断・表現	「豊かな人生とは何か」について主体的に考えることができ、そのためにはどのような選択をしたらよいのか、必要な情報収集をして自ら考えることができる
主体的に学習に取り組む姿勢	キャリア学習の土台となる自己理解について、何事も「まずやってみる」ことで理解を深めているか、また仲間と協働することで、対話的で深い学びができているか。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	産業社会と人間Ⅲ	2	4	4	なし	

学習の目標
職業や進路選択に必要とされる能力・態度を育み、自己の生きがいや生涯学習の意欲を育成する

添削指導	学習内容
第1回	婚約の自由について
第2回	選挙権について
第3回	自分の将来
第4回	高校生の振り返り

面接指導	学習内容
1時間	婚約の自由について
2時間	選挙権について
3時間	自分の将来
4時間	高校生の振り返り

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	将来のキャリアやライフプランを考えるうえで、必要な知識を理解する
思考・判断・表現	「豊かな人生とは何か」について主体的に考えることができ、そのためにはどのような選択をしたらよいのか、必要な情報収集をして自ら考えることができる
主体的に学習に取り組む姿勢	キャリア学習の土台となる自己理解について、何事も「まずやってみる」ことで理解を深めているか、また仲間と協働することで、対話的で深い学びができていくか。

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。



令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	日本文化演習Ⅱ	1	2	4	なし	

学習の目標
日本文化・社会への理解を深め、主体的な思考力と探究心、 そして異文化理解・コミュニケーション能力を高める

添削指導	学習内容
第1回	日本の歴史について
第2回	日本の文化について

面接指導	学習内容
1時間	日本の歴史について
2時間	
3時間	日本の文化について
4時間	

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日本の歴史、文学、思想、宗教、芸術、生活習慣、社会制度など、 文化の様々な側面を多角的に学んでいる
思考・判断・表現	既成概念にとらわれず、自らの力で課題を発見し、解決する能力を養う
主体的に学習に取り組む姿勢	文献や情報を主体的に精査し、独自の視点や見解を生み出す力を養う

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	日本文化演習Ⅱ	1	2	4	なし	

学習の目標
文化・言語・歴史・芸術・生活様式など多角的な視点から日本を学ぶことで、 自らの見解を生み出す力を養い、グローバル社会で活躍できる「日本文化の発信者」となることを目指します。

添削指導	学習内容
第1回	日本文化と世界の違い
第2回	日本文化の発展

面接指導	学習内容
1時間	日本文化と世界の違い
2時間	
3時間	日本文化の発展
4時間	

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日本の歴史、文学、思想、宗教、芸術、生活習慣、社会制度など、 文化の様々な側面を多角的に学んでいる
思考・判断・表現	既成概念にとらわれず、自らの力で課題を発見し、解決する能力を養う
主体的に学習に取り組む姿勢	文献や情報を主体的に精査し、独自の視点や見解を生み出す力を養う

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に 4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	研究・探究Ⅰ	2	4	4	なし	

学習の目標
自分の今までの生活・人生のあり方を振り返って、自己の発見を行う。 自ら課題を設定し、意欲的に課題解決に取り組む姿勢を身につけると共に、主体的に判断する能力を養う。

添削指導	学習内容
第1回	ウェルネスの意味について調べる
第2回	笠間の歴史について調べる
第3回	ウェルネス高校茨城の土地について
第4回	茨城県の歴史について

面接指導	学習内容
1時間	ウェルネスの意味について調べる
2時間	笠間の歴史について調べる
3時間	ウェルネス高校茨城の土地について
4時間	茨城県の歴史について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	自らを振り返り自己の発見を行える
思考・判断・表現	主体的に判断し課題解決に取り組むことができる
主体的に学習に取り組む姿勢	意欲的に課題に取り組むことができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	研究・探究Ⅱ	2	4	4	なし	

学習の目標
研究・探究Ⅰの成果を基に自分の今までの生活・人生のあり方を振り返って、事故の発見を行う。 自ら課題を設定し、意欲的に課題解決に取り組む姿勢を身につけると共に、主体的に判断する能力を養う。

添削指導	学習内容
第1回	バレーボールの歴史について調べなさい
第2回	吹奏楽の歴史について調べなさい
第3回	野球の歴史について調べなさい
第4回	質実剛健の意味を調べなさい

面接指導	学習内容
1時間	バレーボールの歴史について調べなさい
2時間	吹奏楽の歴史について調べなさい
3時間	野球の歴史について調べなさい
4時間	質実剛健の意味を調べなさい

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	自らを振り返り自己の発見を行える
思考・判断・表現	主体的に判断し課題解決に取り組むことができる
主体的に学習に取り組む姿勢	意欲的に課題に取り組むことができる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	ボランティアⅠ	2	4	4	なし	

学習の目標
<p>地域、地区のためになる活動を行う。</p> <p>学校長が事前に承認した活動で、活動報告・活動証明書に基づき、単位認定の判断がされる</p>

添削指導	学習内容
第1回	ボランティア活動について
第2回	日本のボランティア活動
第3回	世界のボランティア活動
第4回	SDG'Sについて

面接指導	学習内容
1時間	ボランティア活動について
2時間	日本のボランティア活動
3時間	世界のボランティア活動
4時間	SDG'Sについて

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	ボランティア活動について理解することができる
思考・判断・表現	人、環境について考え課題解決に取り組むことができる
主体的に学習に取り組む姿勢	ボランティア活動に積極的に参加できる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	ボランティアⅠ	2	4	4	なし	

学習の目標
<p>地域、地区のためになる活動を行う。</p> <p>学校長が事前に承認した活動で、活動報告・活動証明書に基づき、単位認定の判断がされる</p>

添削指導	学習内容
第1回	ボランティア活動について
第2回	日本のボランティア活動
第3回	世界のボランティア活動
第4回	SDG'Sについて

面接指導	学習内容
1時間	ボランティア活動について
2時間	日本のボランティア活動
3時間	世界のボランティア活動
4時間	SDG'Sについて

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	ボランティア活動について理解することができる
思考・判断・表現	人、環境について考え課題解決に取り組むことができる
主体的に学習に取り組む姿勢	ボランティア活動に積極的に参加できる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	ボランティアⅠ	2	4	4	なし	

学習の目標
<p>地域、地区のためになる活動を行う。</p> <p>学校長が事前に承認した活動で、活動報告・活動証明書に基づき、単位認定の判断がされる</p>

添削指導	学習内容
第1回	ボランティア活動について
第2回	日本のボランティア活動
第3回	世界のボランティア活動
第4回	SDG'Sについて

面接指導	学習内容
1時間	ボランティア活動について
2時間	日本のボランティア活動
3時間	世界のボランティア活動
4時間	SDG'Sについて

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	ボランティア活動について理解することができる
思考・判断・表現	人、環境について考え課題解決に取り組むことができる
主体的に学習に取り組む姿勢	ボランティア活動に積極的に参加できる

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。

令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
学校設定科目	各資格・各検定	2	4	4	各教材	

学習の目標
<p>生徒自身で取得したい資格・検定を選択し取得に向けて取り組む。</p> <p>試験に向けて計画的に学習活動を行い課題を解決し合格を目指す。</p> <p>・実用漢字能力検定・実用英語技能検定・実用数学技能検定・日本語能力検定・情報処理技術者経済産業省認定</p>

添削指導	学習内容
第1回	実用漢字能力検定
第2回	実用英語技能検定
第3回	実用数学技能検定
第4回	日本語能力試験

面接指導	学習内容
1時間	実用漢字能力検定
2時間	実用英語技能検定
3時間	実用数学技能検定
4時間	日本語能力試験

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	資格・検定の内容を十分に理解（合格点）できている
思考・判断・表現	課題を自ら見つけ解決する方法を考えることができる
主体的に学習に取り組む姿勢	積極的に資格・検定を受けている

【単位習得認定基準】

1 添削指導	: 全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	: 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4時間以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	: 所定以上の得点を修めること。



令和7年度 日本ウェルネス高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
特別活動		1 ～ 6	6回	6回		

学習の目標
<p>集団行動を通じて「周りとの協調」を学習すると同時により良い集団生活を営み、人間関係の構築を行い、自主的に行動をとれる人間となれるようにすること。</p>

添削指導	学習内容
第1回	校外学習事前準備（震災学習）
第2回	校外学習（福島県いわき市：震災学習）
第3回	文化祭事前学習
第4回	文化祭
第5回	校外学習事前学習（東京・千葉）
第6回	校外学習（東京・千葉）

面接指導	学習内容
1 時間	<p>事前準備：校外学習に向けて各班の編成を行い、現地でどのような学習を行うのかを調べ学習する。また、班活動を通じて人間関係の構築を行う。</p> <p>HR活動に於いては、朝のHRとして10分間毎日行い、計5日（50分）で生徒関係の確認と毎日の学習目標を確認。生徒自身が時事の講話を実施する。</p>

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活から時事に対しての調べを行い、その事象を多角的に考えることができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な情報を駆使し、数多の情報を整理することができる。</li> <li>班などでその情報を交換し、自らの考察を意見することができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む姿勢	<p>HR、校外学習、イベント等で自ら主体的に学習に取り組む。</p> <p>また班編成の中で様々な意見を取り入れることができるか。</p>

【単位習得認定基準】

1 添削指導	：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
2 面接指導	：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位以上出席することが必要。
3 単位認定試験の得点	：所定以上の得点を修めること。